

大学生活、授業 遠隔で紹介 静岡文化芸術大 オリエンテーション

大学関係者と学生が遠隔で交流し
たりモットオリエンテーション
浜松市中区の静岡文化芸術大



浜松市中区の静岡文化芸術大は14日、新入生と大学関係者が遠隔で交流する「リモットオリエンテーション」を学内と学生をつないで行った。文化政策学

科の1年生14人が、会議アプリを使って同学科の加藤裕治教授や同大教務・学生室の担当者から大学生活などについて説明を受けた。加藤教授は、文化社

会学やメディア論といった自身の専門分野をはじめ、日課や学生時代の部活などを紹介。学生に現在の生活や授業の様子について問いかけ、「室内にいることが多いので、良い読書をしてほしい」と呼び掛けた。参加した深町彰真さん(18)は「大学関係者と話せるのはうれしく、ありがたい。新入生同士の話題も膨らむ」と語った。

オリエンテーションは6月末から、全4学科で始めた。同大によると、今後も教員や先輩学生を招いて実施するという。